

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・楽しく技能が定着できるようにミニゲームやミニ競争などを取り入れることができた。
- ・ICT機器を活用し、自分の動きを振り返り、改善につなげていくことができた。

(2) 課題

- ・児童の運動能力の差が大きい。
- ・スポーツの経験や関心に差が見られ、競技のルールや規則についての知識がない児童が多い。
- ・準備運動や用具の準備、運動のルール理解に時間が掛かり、運動量の確保ができていなかった。
- ・暑さや校舎増築工事等による制限によって、十分な運動環境が確保できないことがあった。

2 授業改善のポイント（観点別）

・低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動遊びの楽しさに触れるために、様々な遊びを行い、経験することを増やす。 ・運動遊びの行い方を知るために、実際の動きの映像を見る機会を作る。	・考えたことを友達に話す時間を作り、互いの考えを伝える機会を作る。 ・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりする機会を確保し、一緒に行う時間を作る。	・準備、片付けの仕方や安全面の配慮の徹底を心掛け、実際に教師が見せる。 ・運動遊びをする際、順番や規律を守り、誰とでも仲良くできる場の工夫をする。

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・正しい動きを知るために、動画を活用したり、お手本を示したりしながら、分かりやすいオリエンテーションを実施する。 ・楽しみながら技能を習得していけるよう、様々な動きを取り入れ、経験できる場を設定する。	・友達の動きを見て、気付いたことを伝え合ったり、教え合ったりする時間を確保する。 ・学習カードを活用し、具体的に課題を考えたり、課題を解決するために必要なことを考えたりできるようにする。	・授業規律を共通理解させ、準備や片付けの役割をはっきりと決め、協力して取り組めるようにする。 ・実態に合った「めあて」を毎授業設定し、運動にすすんで取り組むことができるようにする。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・スモールステップで学習過程を計画し、個に応じた指導をする。 ・「する、みる、支える、知る」の4つの柱の中で、「みる、知る」の部分を増やすため、参考動画などを見せるようにする。 ・楽しく技能が定着できるようにミニゲームやミニ競争などを取り入れる。	・チーム学習を取り入れ、ポイントなどを伝え合い、児童同士で良い動きの習得をしやすいとする。 ・友達と教え合ったり協力したりする活動を授業の中で取り入れる。 ・学習カードを活用し、より良い動きやチームの作戦について考えられるようにする。	・授業規律を徹底し、準備や片付けを素早く行わせることで、運動量の確保をする。 ・導入の時間に安全面の指導を行い、児童の安全面への意識を高める。 ・毎時間の授業の「めあて」を明確にし、運動に積極的に取り組ませる。

